

# 議会だより みなかみ

令和7年  
2025年  
1月15日発行  
82号  
群馬県利根郡みなかみ町

## 冬の準備万端



特集

### 第7回 中学生議会

#### 12月定例議会

特集 中学生議会	2
本会議審議内容及び結果	4
活動報告	6
一般質問	8
まちの匠	15



バックナンバー  
が見られます。



# 第7回 中学生議会開会



10月16日に中学生議会が開会され、みなかみ中学校の生徒代表6人が一般質問を行いました。

## 角田 日彩 つのだ にな

### 通告 子育てしやすい町について



子育てスタート用品レンタルと出産前からの手厚いフォローで、安心して子育てができる環境の整備を提案します。



子育て支援を充実させれば、少子化と人口減少を防ぐことができますと思います。

子育て支援の充実は、町が将来にわたって人口を維持し、持続的な発展をしていくための重要施策です。何が必要で適切か研究し、様々な施策を実施していきたいと思ひます。



町長

町では多くの支援事業を行っています。様々な支援事業を組み合わせ実施することで大きな成果へと繋がっていくものと思ひます。



子育て健康課長

## 林 大義 はやし はるよし

### 通告 高校生の交通費補助について



高校生の電車運賃の補助を提案します。



電車運賃を補助することにより、子育ての経済的な負担を軽減できると考えます。



町長

「子育てするならみなかみ町」といっていただけるような数々の施策を行っています。その一つが通学等にかかる交通費の補助です。



企画課長

学生が対象となる補助は路線バス運賃助成、路線バス通勤通学定期券購入補助金、大学生等新幹線通学費補助金の三つがあります。鉄道利用者通学費の支援は、社会情勢や他地域の動向を考慮しながら検討したいと思ひます。

## 原澤 結愛 はらさわ ゆあ

### 通告 赤沢スキー場跡地の再開発について



新治地区にとって赤沢スキー場はかけがえのない存在でした。



跡地利用に木を使用したアスレチック、グランピングやキャンプ場、一年中楽しむことができる遊び場の三つを提案します。

赤沢には大切に守られてきた豊かな自然があります。ユネスコエコパークの町として、自然環境と共生する持続可能なまちづくりの実践場として再スタートできればと考えます。



町長

自然の植生を回復させる調査研究や環境学習などの場として、人と自然がふれあい、人が集える拠点としての活用を検討したいです。



企画課長

## 鈴木 音羽 すずき おとは

### 通告 伝統文化の継承について



祖母が「藁草履作りの仲間が施設へ入所し人手不足」と言っています。



伝統文化を継承するために、まず町民に知ってもらう機会を増やすことを提案します。



教育長

継承者高齢化の課題解決のために、継承すべき伝統文化をまずは町の多くの方に知っていただくのが重要だという提案は、全くそのとおりです。提案を参考にこれまで取り組んできたことに磨きをかけたいと思ひます。



生涯学習課長

様々な専門家と連携して、伝統文化を人々に知ってもらうことに努めていきたいと思ひます。

## 芳賀 衣織 はが いおり

### 通告 介護教室の開催について



介護の担い手不足により介護施設や介護士の数は減少傾向にあります。



福祉に興味を持つ人を増やし、人の温かさを感じられる社会を目指すために、介護教室の開催を提言します。

思いやりの精神を育む場をつくることは、老後に安心して暮らせる生活の維持や介護人材確保のために重要な取り組みと考えます。



町長

より充実した介護教室の開催について、現在の状況と内容を精査し、体験、回数、若い人向けなどの視点からも研究したいと思ひます。



町民福祉課長

## 佐藤 愛月 さとう うつき

### 通告 獣害対策について



下校中に数回イノシシを目撃したことがあります。とても怖いです。



野生動物が人里に降りてこないよう集落の餌場価値を下げれば、獣に出会うことが減ると考えます。



町長

獣害対策には様々な課題があり簡単に解決できませんが、安心して暮らせるよう取り組みを進めたいと考えています。



農林課長

集落の餌場価値を下げることは重要な対策です。放置果樹の伐採は効果的ですが、費用がかかるためなかなか進んでいません。町には伐採などの補助金等がないので調査研究したいと考えています。

# 12月定例議会議案及び議決結果

議長は採決に加わりません

議案番号	議案内容	議決結果
発議	第 6 号 みなかみ町議会継続的な交流事業のあり方調査特別委員会の設置	全会一致可決
	第 7 号 みなかみ町議会継続的な交流事業のあり方調査特別委員会委員の指名選任	
報告	第 9 号 旧一葉亭解体工事（第3期）請負変更契約の専決処分報告	全会一致承認
	第 10～11号 損害賠償の額の決定及び和解の専決処分報告	
承認	第 6 号 損害賠償の額の決定及び和解の専決処分報告	全会一致承認
議案	第 56 号 監査委員の選任	全会一致同意
	第 57 号 刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例	全会一致可決
	第 58 号 官行造林地に関する条例を廃止する条例	
	第 59 号 税条例の一部を改正する条例	
	第 60 号 地域包括支援センターの職員及び運営に関する基準を定める条例及び指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	
	第 61 号 町営赤沢スキー場施設条例を廃止する条例	
	第 62～69号 指定管理者の指定	
	第 70 号 一般会計補正予算（第4号）	
	第 71 号 水道事業会計補正予算（第1号）	

## 請願

委員長・議長は採決に加わりません

件名	請願人	付託委員会及び審査結果	本会議審査結果
第3号 「食料自給率向上自治体宣言」を求める請願	利根沼田農民連 原澤 良輝	産業観光生活環境常任委員会 賛成少数 0：6 不採択すべきもの	賛成少数 2：11 不採択

12月3日から11日までの会期で12月定例議会を開いた。  
 発議2件、報告3件、承認1件、人事1件、条例5件、指定管理8件、補正予算2件を審議した。  
 一般質問は6人であった（8～14頁）。

**賛成** 星野宗央議員  
 一人一人の取り組みも重要だが、町全体で取り組まなければ食糧自給率向上にはつながらない。町民と町が一体となり取り組むことに意義があり、ますます必要となる。

**反対** 河合史将議員  
 目標達成のための政策検討と実践を求めている。そのことを真摯に受け止めると、具体的な成果目標の設定が難しく、実行されるには課題が多い。

## 陳情

委員長・議長は採決に加わりません

件名	陳情人	付託委員会及び審査結果	本会議審査結果
第2号 ケア労働者の賃上げと大幅増員、医療・介護施設への支援拡充を求める陳情書	群馬県医療労働組合連合会 中央執行委員長 出浦 匠人	総務文教厚生常任委員会 賛成多数 5：1 趣旨採択すべきもの	全会一致 趣旨採択
第3号 政党機関紙の庁舎内勧誘行為の実態調査を求める陳情書	政党機関紙の庁舎内勧誘の自粛を求める群馬県民の会 上田 寿江	総務文教厚生常任委員会 賛成少数 0：6 不採択すべきもの	賛成少数 0：13 不採択

## 補正

総額 172億2996万円

補正額 6億1300万円

(端数処理あり)

### 歳出

障害福祉サービス事業……………4500万円  
 産官学金連携による観光拠点整備事業…5000万円  
 その他……………5億1800万円

### 歳入

障害者自立支援給付費等負担金(国・県) 3375万円  
 地方創生応援税制寄附金……………5000万円  
 その他……………5億2925万円



みなかみ町議会  
 継続的な交流事業の  
 あり方調査特別委員会  
 5名

今後の交流のあり方を調査研究します。

江口 樹 委員長  
 森 健治 副委員長  
 牧田 直己 副委員長  
 茂木 法志 副委員長  
 河合 史将 副委員長

10月15日に臨時議会を開いた。  
発議3件、承認1件、契約3件、  
条例1件を審議した。

# 10月臨時議会議案及び議決結果

議長は採決に加わりません

議案番号	議案内容	議決結果
選挙 第1～2号	副議長・利根沼田広域市町村圏振興整備組合議員選挙	
承認 第5号	一般会計補正予算（第3号）の専決処分	全会一致承認
議案	第52号 谷川岳一ノ倉沢電気バス購入契約の締結	全会一致可決
	第53号 除雪トラック（4t級）購入契約の締結	
	第54号 道路メンテナンス補助事業町道藤原102号線宝川橋撤去工事請負契約の締結	
第55号 町営住宅管理条例の一部を改正する条例		
選挙 第3号	議長選挙	
発議 第3～5号	常任委員会委員・議会運営委員会委員・議会だより編集特別委員会委員の指名選任	

## 活動報告

産業観光  
生活環境  
常任委員会

10月8日 産観委員会レポート

### 課題 町内国有林のナラ枯れ被害

近年、町内においてナラ枯れの被害が発生している。例年に比べ被害が急拡大している現状を踏まえ、9月に当委員会において協議を行った。その内容を基に農林課が利根沼田森林管理署へ照会文を提出し、回答を得た。概要は以下のとおりである。

**質** 水源涵養機能に影響は無いのか。

**答** 森林の水源涵養機能は、森林の土壌が発達することによって十分に発揮される。広範囲に相当量の枯死木が発生し、裸地化した場合には、水源涵養機能が低下する可能性はあるが、現状は広範囲に裸地化するような状況にはなっていない。

また現在、町が設置している「おと丸太」の成果等について、群馬県の林業試験場と国立森林総合研究所が調査を行い、結果を合わせてナラ枯れ被害に関する勉強会を実施している。

### 委員長のまとめ

ナラ枯れ被害について、様々な対策を実施すると共に成果についても検証を繰り返しながら、国、県とも連携して被害軽減に向け進めていく必要性があると考えている。

### その他の議題

- ・町公営住宅削減計画
- ・水を観光資源にした取り組み
- ・クビアカツヤカミキリについて
- ・公営企業会計の勉強会
- ・その他



## 監査

10月31日 監査委員工事監査

林道整備工事、親水公園等整備工事、野球場バックネットフェンス改修工事、月夜野小学校整備工事の調査を行った。

重点項目として工事が適法かつ合理的・能率的に行われているか、経済的に妥当であるか、施工及び管理

が適切に行われているか、工事監理・監督は適正に行われているかについて、主に関係書類・工事記録写真の閲覧、担当職員等への質問を行い監査した。

## 活動報告

11月5日 研修  
玉村町文化センター

### 群馬県町村議会議員研修会

群馬県町村議会議長会が主催する研修会に全議員が参加し、左記の講演を聴講した。

「住民に期待される議会になろう！  
議会力によって  
地域の未来が変わる」

「町村自治体の防災・減災対策と  
災害時の議会議員の役割」



## 活動報告

総務文教  
厚生  
常任委員会

総文委員会レポート

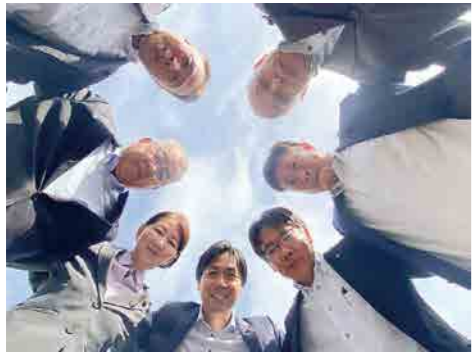
### 総括 「住んでよかった」と思える町

#### はじめに

これまで2年間、多岐にわたる議事を当委員会が扱ってきた。適切な財政状態のあり方、消防団の処遇改善、月夜野地区の小学校統合など、多くの課題に取り組んできた。これらの議論を行う上で、当委員会の共通認識として「持続可能な町への意識」があった。

いままでもなく当町は人口が減少し、高齢化率が40%を超え、現役世代の占める割合が減少傾向にある。

また、合併後今日まで、公共施設統廃合が課題であり、他の自治体に比べても公共インフラの維持管理コストに費用がかかっている。こういった現状を踏まえ、各議論に臨んだ2年間であった。



### これまで特に委員会で

#### 積極的に議論された内容

- 温泉施設、公用車の整理等、現実的かつ持続的な公共施設財産のあり方
- 消防団員の処遇改善と報酬の支払い方法の是正
- 災害時に迅速な避難を実現するための避難行動計画
- 若者・子育て世帯が求める住環境の整備
- 小学校統合

### 委員長のまとめ

これからは人口減少化社会。時代に即した行政コストのサイズダウンをしつつ、少ない人口でも活力ある町を創るための準備が必要であることはいままでもない。そのためにはこれまで議論を重ねてきたことに加え、現役世代の流出の抑制、特に県内移住者への対策とオンリーワンの子育て・教育環境の探求、そして官民連携による魅力創出事業への積極的な取り組みが求められる。



一般質問とは

議員が町の行財政全般にわたって執行機関に疑問点をただし、所信の表明を求めもの。  
 執行機関の政治姿勢を明らかにし、それに対する政治責任を明確にさせたり、結果として、現行の政策を変更、是正させあるいは新規の政策を採用させるなどの目的と効果がある。  
 定例会のみで行われ、現在、みなかみ町議会での一般質問の時間は、一人50分までとなっている。

事前通告一覧

- 石坂 武** いしざか たけし
  - ①町長、公約実現への取り組み
  - ②観光会館周辺公共施設最適化事業の進捗状況
- 鈴木 美香** すずき みか
  - ①アピアランスケア事業の周知と柔軟な対応を
  - ②耕作放棄地解消に向けた取り組み
- 高橋 久美子** たかはし くみこ
  - ①寄り添える施策で安心して住める町を
  - ②命を守る防災対策
  - ③SNSの活用で道路の補修箇所又は、災害時の土砂崩れなど迅速な対応で安全安心を
- 石坂 欣也** いしざか きんや
  - ①高齢者へ「宅配+健康チェックサービス」の導入は
  - ②町民幸福度指数(MHI)の導入は
  - ③世界水準の観光地を目指して
  - ④観光×ウエルビーイングの融合
  - ⑤「共感型観光」への転換
  - ⑥みなかみ町の「観光の未来地図」
- 高橋 市郎** たかはし いちろう
  - ①農業振興と土地活用について
- 星野 宗央** ほしの かつひさ
  - ①現行の健康保険証廃止後の町の対応は
  - ②廃プラ資源化による住民へのメリットは
  - ③住民への物価高騰対策は



石坂 武 議員

町長 愛郷無限を掲げ活動しているが、  
 今後も変わらぬ思いで取り組む

**問** 町議の時代より愛郷無限を掲げ活動を行っているが、その思いは。

**答** 町長 町民に寄り添う姿勢、現場の方々に耳を傾け、意見を聴くという姿勢で取り組んできました。これからも変わらぬ思いで取り組む。

しつかり進めていかなければならない喫緊の課題と認識している。

**問** 公約の実現に向け気になるのが、5年度決算の収入未済額5億4千万円と、収納率85.99%。改善策は。

**答** 町長 現年度課税分の徴収強化策として、口座振替の推進や電話催告、啓発活動等の強化。滞納繰越分の徴収強化策として、滞納者の個別事情を考慮し、自主納付が習慣化できるよう働きかけ、滞納額圧縮に努める。

観光会館周辺公共施設最適化事業の進捗

**問** 過去の一般質問で歴代の首長から、実施するとの明確な回答があるが、そのことについて伺う。

**答** 町長 あの場合があの状況で良いとは思っていない。公共施設等最適化計画を作成している。月夜野地区統合小学校の次が観光会館周辺整備と考えており、順次進めていかなければならない事業と考える。将来の責任も含まれると認識している。

無料、24時間最大料金等の改正時期に来ていると思うが、見解は。

**答** 町長 様々な意見があることは承知している。今後は指定管理者を公募し、いろいろな意見を聴く中で、より利用しやすくなるように取り組むたい。



**答** 町長 新型コロナウイルスの蔓延による地方創生臨時交付金を活用した国の施策の影響がほとんどと考えている。

反面、行財政改革も並行して

**問** 湯原温泉街町営駐車場の料金体系が課題になっている。観光会館周辺公共施設最適化事業を見据えた中、早急に2時間



観光会館



鈴木 美香 議員

# 町長 日常を送るために必要 エピテーゼを新しい選択肢に



**問** エピテーゼ<sup>※1</sup>を必要とする方は、がん患者のみならず、先天的・後天的を問わず常に社会生活に対し、少なからず抵抗を感じる状況にある。そこに寄り添い、安心して社会生活を営んでいただくのが公的な福祉支援。要件の緩和と実態に見合った補助割合を。

※注1 外観を補うための取りはずしが可能な装具の総称。

**答** 町長 日常を送るために必要な事業。前向きに検討する指示をした。

## 耕作放棄地解消に向けた取り組み

**問** 耕作が不可能な荒廃農地が増え続けていることは、地域にとって致命的。今後休耕地の農業再開を促さなければ、農業を軸に根ざした人口の定着は見込めないと考える。耕作放棄地の増加の原因に、後継者不足が大きく占めるとするならば、対策は。

**答** 町長 生活できるように所得を高める必要がある。すぐに担い手の確保につながるものは少ない。

**問** 人材がいたとしても、農林課や農業委員会のドアを開けて入っていくというのは、とてもハードルが高い。新規就農の相談会があれば、同じ目的を持つ方と一緒に聞いて、判断し、相談するというのが、抵抗のない入り口。マッチングできる農地がネットに分かれれば、田畑の拡大も視野に入る。現役農業者もいると思うが。

**答** 町長 H Pなどを通じて情報を提供していく姿勢は取っていきたい。

**答** 町長 全体的な中で研究していきたい。

**問** 休耕地を使ったお試し農業体験ができる窓口の設置と、出口の確保が必要。経験の場を創出するのが大事。その体制づくりが、今後10年、20年先のみなかみの農業につながる。組織・団体をつくることで、国や県の補助金で出来る事業もあるが。

**答** 町長 移住者や若い世代に農業の体験をしていただくことは大変よいこと。行政として出口をいかに整備するかということも重要な課題。調査研究していく。

みなかみ町アピアランスケア助成事業	
上限3万円	上限1万円
医療用ウィッグ	補正パッド
装着ネット	補正下着
毛付き帽子	専用入浴着
	弾性着衣
	エピテーゼ
1人1回のみ	1人1回のみ

申請数  
令和5年度…………… 3件  
令和6年度(11月25日現在) …… 5件



高橋 久美子 議員

# 町長が目指す寄り添うとは 町長 真摯に耳を傾ける姿勢



**問** 町長に就任され2年。町長は「住みたい・住みたくなく町ナンバーワンを目指します」と掲げ当選を果たされた。寄り添える施策で安心して住める町をという事で質問するが、寄り添える施策は、多岐にわたり一つ一つの町民の方の声を聞きながら進めていくものと考えている。その方向性が「住みたい・住みたくなくナンバーワンを目指します」にも一致すると思う。町長が目指す町民の方に寄り添うとは。

**問** 窓口専用軟骨伝導イヤホンの設置について伺う。役場の窓口対応で、聴覚障害の方や高齢者の方の聞こえに寄り添う対策が必要ではないか。

**答** 町長 窓口用の軟骨伝導聴覚補助イヤホンは有効と思う。穴や凸凹がないイヤホンを導入することで、使用後の衛生面においても実現可能と考える。

**答** 町長 個室に男性用サニタリーボックスを設置しているトイレはない。大変重要な提案であると受け止める。できるところからと考えている。

**問** 公共施設や学校トイレへの生理用品設置について伺う。生理用品が購入できない生理の貧困がコロナ禍で顕在化。生理の貧困は、当事者が声を上げづらい。女性の尊厳に関わる社会問題。町の設置状況と設置への見解を伺う。

**答** 町長 庁舎内やその他の町有施設については設置していない。前向きに検討する。町内小・中学校はすでに4校が女子トイレ内に設置しているが、年度内をめどに、他の学校も設置できるよう準備を進めたい。

**答** 町長 小さな声に耳を傾ける対話が町政の基本。嫌なことも都合の悪いことも、しっかりと真摯に耳を傾ける姿勢が大切。

**問** 男性トイレ個室のサニタリーボックス設置について伺う。高齢者の男性を中心に、前立腺がんや膀胱がん罹患される方が増えてきているといわれている。尿漏れパッドが必要とのこと。町の設置状況と設置に対する見解を伺う。



イメージ写真



石坂 欣也 議員

## 町長 ブランド価値の向上に努める

**問** 世界水準の観光地を目指しては。

**答** 町長

町はすでに持続可能な取り組みが評価されユネスコエコパーク、SDGs未来都市、更に今年ネイチャーポジティブ宣言も行った。これらの活動と取り組みを優先してブランド価値の向上に努める。

### 観光×ウェルビーイングの融合

**問** 心身の健康市場が成長する中で、町の温泉と自然を活かしたツアーの導入は。

**答** 町長

本来であれば観光事業者が対応すべき個別の取り組みと理解している。アイデアの一つと考えているが、それぞれの事業者の方々が判断すべきと思う。

※注1 身体的・精神的・社会的に良好な状態にあること。

**問** 「共感型観光」への転換は。

**答** 町長

既に、町体験旅行を中心に民間レベルで実践されている。ユネスコエコパークとして豊かな自然を守り、活かし、広めることを

実践しながら、共感型観光へ取り組んでいる。これからやろうとするところに対しては、できることを支援していきたい。

**問** 「観光の未来地図」は。

**答** 町長

民間、観光協会、行政で連携し観光を進めていきたいと思う。いろいろな提案を賜り、調査研究したいと思う。できること、求めているもの、現場の方がどういう思いであるかも調査しなければならぬと思う。

### 高齢者へ「宅配+健康 チェックサービス」の導入

**問** ヤマト運輸が自治体と協定を結び、見守り活動に取り組む「クロネコ見守りサービ

スハローライト訪問プラン」があるが。

**答** 町長

今、町が進めている高齢者福祉を充実していく考え。ヤマトの事例は承知していないので、これから事例を参考に調査研究していきたいと思う。

**問** 町民幸福度指数の導入は。

**答** 町長

町民の暮らしやすさと幸福感を指標の数値化、可視化する取り組みはデジタル庁が進めており、他の自治体の事例を参考にし、町に合った方法を模索しながら、必要に応じて導入を検討したい。



(撮影場所：一ノ倉沢付近)



高橋 市郎 議員

## 町長 協議を継続する

**問** 地域計画策定について、旧町村単位での話し合いを進めているようであるが、集落ごとに話し合い、今後の町の農業を見据えた地域農業計画を策定すべきではないか。

**答** 町長  
地域計画は、令和7年3月

までに策定することを前提に取り組んでいる。今回策定するものは起点であり完成ではない。協議を継続し、完成度を高めていかなければならない。実際に十年後どうなっているかが重要である。

**問** 農業振興地域に指定された土地について、開発に影響を及ぼしている事例もあると思うが、本町における長期的な土地利用計画の考えは。

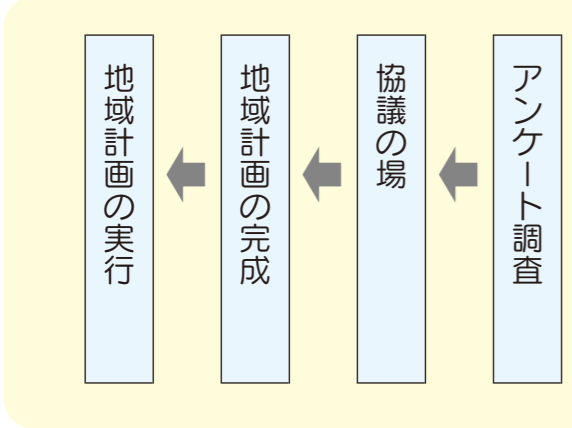
**答** 町長  
みなかみ町誕生から20

年が経過する中で、社会情勢の変化が予想以上に速く、都市計画など時代に即した見直しがあつてよいと思うし、あるべきである。町全体の長期ビジョンの検討を進めていきたい。

**問** みなかみ町は魅力のある町で、今後大きく発展する要素を持っているといわれる。旧町村の地域の役割を見据えて、それぞれの地域が力を発揮できるようにまちづくりをすることが、みなかみ町発展につながるのでは。

**答** 町長  
行政だけでなく、地域の皆様方、関係する方々と連携して力を合わせて前に進めて行き、具体的な絵が描ければよいのではないかと考えている。

地域計画とは、農業者や地域のみなさんの話し合いでつくる、将来の農地利用の姿を明確化した地域農業の設計図です。町は関係機関と一体となり、地域計画の作成に取り組んでいます。





星野 宗央 議員

# 現行保険証廃止後の町の対応は 町長 変わらずに医療機関を受診できる



**問** 健康保険証の新規発行がなくなったが、町の対応は。

**答** 町長 マイナ保険証をお持ちでない方への資格確認書の発行時期は、資格等に異動がない場合は、被保険者証の有効期間満了近くに職権により交付する予定。

**問** マイナ保険証の保有に関わらず、変わらずに医療機関を受診できるように対応したい。

**答** 町長 資格確認書と健康保険証は、何が違うのか。

**問** 資格確認書と健康保険証は、何が違うのか。

**答** 町長 効力は同じ。

**問** マイナ保険証を持っていても、資格確認書を発行してもらえないのか。

**答** 町民福祉課長 高齢者もしくは障害等を持つに要する要支援者の方には、申請に基づいて資格確認書を発行する。

**問** マイナ保険証の登録解除はどのようにするのか。

**答** 町民福祉課長 国民健康保険では、解除のための申請書を用意している。窓口で申請書を記入し提出すれば、解除の手続きをさせていただきます。

**問** 国民健康保険では、解除のための申請書を用意している。窓口で申請書を記入し提出すれば、解除の手続きをさせていただきます。

**答** 町民福祉課長 国民健康保険では、解除のための申請書を用意している。窓口で申請書を記入し提出すれば、解除の手続きをさせていただきます。



**問** 廃プラ資源化による住民へのメリットは。

**答** 町長 メリットがどのような形で見えてくるかの判断は難しいが、分別することにより全体で貢献していただいている。

**問** 廃プラ資源化による住民へのメリットは。

**答** 町長 資源にするときに、ガス化をしようとしているが。

**問** 資源にするときに、ガス化をしようとしているが。

**答** 環境課長 令和6年度の再商品化業者はガス化処理。プラスチックをガス化し合成ガスを取り出す方法で、水素と二酸化炭素の合成ガスをつくって、アンモニアと炭酸製品に生まれ変わるとい手法で

**問** 住民への物価高騰対策は。

**答** 町長 住民税非課税世帯1世帯当たり3万円を目安として給付金の支援が行われる予定。住民税非課税世帯のうち子育て世帯は世帯人数が多いことを考慮し、子供1人当たり2万円を加算することが盛り込まれている。

## 物価高騰対策は



まちの匠とは、文化、伝統、自然、生活などの知識、技能や技術を持つ方のことです。  
みなかみ町の匠を紹介します。

## 赤見晴夫さん Akami Haruo (75歳)

匠ナンバー 8

弓道の匠



弓道協会のみなさん

— 生まれたところ、育ったところ 旧月夜野町。

— どんな匠なの 教士六段の称号を有し、町弓道協会の教室で新入会員の指導や熟練者への助言を行っています。

「弓道の要諦は至誠と礼節であり、人に勝つよりも誠を尽くすことが大切である」という倫理を重んじて指導しています。北毛連合会の会長を辞した後に町の弓道協会副会長を務めています。

— 匠になった経緯は 高校生の時に弓道部へ入部したのが始まりです。

以来、故後閑縫之助氏（教士七段）に師事し、教士会の講習や県外試合等に出させてもらいました。

— 弓道のすすめ

弓道教室では、体験したい方をいつでも受け入れます。ぜひ参加ください。



赤見さんの写真を見て、子どもが読んでいた小説の「あなたは何かをやるべき、全部やり終える前に視線が他のところに移っている」という一節を思い出しました。美しい所作には視線の揺らぎがないのでしょ。





★この頁は町民皆様にご参加いただく頁です。以下を参考にふるってご参加下さい。  
★正解者には抽選で若干名様に粗品を進呈いたします。

中学生議会は何回目でしょうか？

- Ⓐ 1回
- Ⓑ 7回
- Ⓒ 17回

前回の議会日より80号ふるさとクイズの正解は『Ⓐ 新治小学校』でした。

### 参加のきまり

下のハガキまたは、裏面のFAX用紙などに、クイズの答え・住所・氏名・議会だよりの感想を記入し、お送りください。  
※下のハガキは、裏面を記入後に必ずのり付けをして投函ください。

〒379-1393 群馬県利根郡みなかみ町後閑318  
みなかみ議会だよりの「クイズ・感想」係  
締切：令和7年2月28日（当日消印有効）  
※当選者の発表は、商品の発送をもってかえさせていただきます。

379-1390

群馬県利根郡みなかみ町後閑318

みなかみ議会だよりの「クイズ・感想」係

料金受取人私郵便  
沼田局承認  
1024  
差出有効期間  
令和7年3月31日まで  
(切手不要)

— 記入欄は裏面にあります —



工ナガ (撮影場所：羽場)

## 議会傍聴のご案内

規則を守り傍聴してください

…………… 流れ ……………

- ①受付にて「受付表」記入（住所・電話番号・氏名・年齢）
- ②受付表を係に渡して「傍聴カード」を受け取る
- ③傍聴席へ
- ④帰りに「傍聴カード」を返却箱へ入れて終了

※飲食・録画・録音・写真撮影は禁止

次回の定例会は

3月4日(火)～  
3月14日(金)の予定

場所：役場本庁舎3階議場

時間：開会は9時

席数：34席

【問い合わせ先】議会事務局

☎25 - 5023

40代

もう少し地域の  
ニュースがあっても面  
白いと思います。  
(猿ヶ京温泉)

80代

公用車は必要と思  
われませんが、台数が  
多いのではないでしょ  
うか。ぜひ見直してほ  
しいと思います。  
(師)

わかりた  
感想

80号でアンケートを実施しました。回答くださった方は10人です。ご協力ありがとうございました。結果は下記のとおりです。

文章は	読んでわかりにくい	5
	読んでわかりやすい	5

「わかりやすさ」は大切です。町民の皆様が読んで分からない議会だよりの場合は、発行する価値はありません。「わかりやすい」編集を心掛けます。

## 議会だよりの編集特別委員会

委員長…江口 樹

副委員長…河合 史将

委員…茂木 法志

星野 宗央

鈴木 美香

編集アドバイザー

利根川太郎

編集モニター

利根商業高等学校生徒

## 虚礼廃止にご協力を

議員は公職選挙法により、下記の行為は禁止されています。また、町民の皆様が議員に寄付を求めるようなことも禁止されています。

- 趣旨をご理解のうえ、ご協力をお願いします。
- 秘書などが代理で出席する場合の結婚祝
  - 入学祝・卒業祝
  - 町内会の宴会や旅行などの催物への寸志や飲食物の差し入れ
  - お祭りへの寄付や差し入れ
  - 落成式・開店祝の花輪
  - お歳暮やお年賀
  - 葬式の花輪
  - 供花
  - 秘書などが代理で出席する場合の香典
  - 地域の運動会やスポーツ大会への飲食物の差し入れ

## 編集後記

新年明けましておめでとうございます。  
この度、10月15日の臨時会において議会だよりの編集特別委員会の構成が変わりました。

議会だよりの活動等は、町民の皆様から知っていただく大変重要な機会です。これからも見やすく、分かりやすく、そして多くの方に手に取っていただけるような編集構成に努めてまいりますので今後ともよろしくお祈り致します。



(江口 樹)



# 皆さんの感想

ハガキの方は、この線で切り取り

内側へ貼り合わせて投函してください。



← FAXの方は、この線で切り取ってご利用下さい。

FAX番号 0278-25-8127

○クイズの答え ⇒ \_\_\_\_\_

○住所 ⇒ \_\_\_\_\_

(ふりがな)  
○氏名 ⇒ \_\_\_\_\_

○年代 ⇒ ・～10代 ・20代 ・30代  
(該当項目に○印を  
付けてください) ・40代 ・50代 ・60代  
・70代 ・80代～

谷-折-り-線

○議会だよりの感想

のりしろ

のりしろ

のりしろ